

成人式

1月9日総合センターで、新成人382名(男性188名・女性194名)の新しい門出を祝し、成人式が行われました。当日は、対象者の約7割の281名(町外からの参加者19名を含む)が出席し、旧友との再会を懐かしむ姿も見られました。

式典では新成人を代表して、菅家幸法さん(南本)が力強い誓いの言葉を述べました。

式典終了後の記念事業では、小・中学校時代の恩師の方々から激励の言葉が贈られ、感動的なものとなりました。また、テーマパークのチケットや伊奈町梨・巨峰ワイン、ゆめくる体育室使用权、給食センターでの給食試食権などユニークな賞品をめぐって大抽選会が行われ、会場は大いに盛り上がりました。



佐藤 雄一さん
(南中)

「成人」

私にはまだ早過ぎる言葉です。なぜなら、成人には一つ一つの行動に対して、責任と自覚を持っていることが必要とされるからです。果たしてそれだけの決意が今の私にはあるのだろうか?これから様々な出来事を経験することで、自然と成人の心構えが養われるでしょう。

この世に生を受けて20年。今日まで何不自由なく過ごせたのも、両親をはじめ、周囲の支えがあったのおかげです。この恩を忘れず、さらに地域へと還元できるように、ここからの人生を日々邁進します。



澤田 有希さん
(伊奈中)

晴れて成人式を迎えることができ、大変うれしく思います。成長するにつれて、自分の世界は広がり様々な人と出会う機会も増えました。その出会いの中で、私は、多くのことを経験し学んできました。



中村 純さん
(小針中)

た。時には失敗もありましたが、その反省も含めて今の自分があります。両親をはじめ、今まで私を支えてきてくれた全ての方々に、深く感謝申し上げます。

今後、成人としての自覚と責任、さらに自信を持てるよう一層努力していきたいと思っています。そして人生を楽しく有意義に送りたいです。

「もう成人式かあ!」

これが式を迎えての一番の感想でした。「早く大人になりたいな」と思っていた小・中学校時代のことをついさっきのことのように思い出すことができるからでしょう。

今、私たちは子どものころ考えていた将来の自分に近づいているでしょうか?

答えが「はい」でも「いいえ」でも、子どものころに夢描いた理想の自分により近づきたいと思います。

この成人式を夢に近づいための起爆剤、また、エネルギー源として、これから頑張っていきたいです。



吉村 伊代さん
(南中)

本日、晴れて成人式を迎えることができ、大変うれしく思います。そして、ここまで支えてくれた多くの方々への感謝の気持ちでいっぱいです。今までは、将来の夢やなり

たい自分をデザインしていく立場でした。しかし、これからはその夢を実現できる年齢になったのです。それには、今までわからなかった責任や苦勞を知ることになるかもしれません。それを乗り越え、社会を動かす一人のアクターとなれるように頑張りたいです。それが二十歳になった私の課題だと思っています。



岸田 幸大さん
(伊奈中)

本日、晴れて成人式を迎えることができ、大変うれしく思っています。また、両親をはじめ、お世話になった方々に深く感謝の意を表したいと思います。

本日の成人式をもって、成人の第一歩を踏み出したわけですが、あまり実感が無いというのが現状かもしれません。成人になり、お酒が飲めるようになったりと新しい生活が待っています。成人になって一番大切なことは自分の行動に最後まで責任を持つことだと私は思います。責任の重さを再確認しつつ、実りのある生活を送ろうと思います。



齋藤めぐみさん
(小針中)

久しぶりに、小・中学校の同級生と再会し、懐かしさの中で、本日晴れて成人式を迎えることができ、大変うれしく思います。『二十歳』大人の仲間入りをしたわけですが、気持ちはまだ未熟です。



選挙権が与えられ、社会の一員として認めてもらうためには、自分自身、自覚を持ち責任のある行動をとらなければなりません。

今春から、私は社会人になります。まだ学生気分の抜けられない私ですが、これからは外見だけではなく、内面的・精神的にも成長し、自分らしく歩んでいこうと思います。
()内は出身中学校